

【1】総合戦略策定事業

[秘書政策課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
大都市圏にありながら豊かで良質かつ安価な住環境であるという、子育てに適した地域の特性を活かし、本町のみならず大都市圏における人口減少の克服に資する好循環を生み出す「豊能町総合戦略」を策定するため、必要かつ専門的な調査等を実施する	専門的調査の実施経費 ・住民を対象とした意識調査や関係団体へのヒアリング等の実施 ・地域特性にかかる情報収集及び分析 戦略策定にかかる事業経費 ・審議会の実施・運営 ・広報広聴の実施	業務委託契約額が当初見込みよりも少なかったため、計画額を減額し、他事業に流用

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【豊能町総合戦略策定支援業務委託事業】 総合戦略の策定にかかる情報収集、分析等専門的調査、その他策定支援業務の委託	9,139,000	5,728,000	4,752,000	
【豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会運営事業】 審議会の運営、広報広聴の実施	861,000	861,000	401,905	【運営状況】 ・審議会：4回 ・分科会（3種）：計5回（うち1回は書面開催）
計	10,000,000	6,589,000	5,153,905	

(※) 決算見込み

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数値	H27年度実績	達成状況	要因等
指標設定なし				

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に非常に効果的であった	豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を設置し、計4回の審議会での検討を経て、平成27年度中に人口ビジョン及び総合戦略を策定することができた。また、戦略策定支援業務委託により、専門的な調査や効率的な戦略の策定を行うことができた
---------------------	---

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値

②効果

--	--

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

当初予定通り事業を終了した	
---------------	--

⇒総合戦略の改訂

--	--

【2】子育て支援医療費助成事業

[保険課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
本町は良質な子育て環境にあるものの、子育て世代にとっては、交通費等他の地域よりも経済的負担が大きくなる部分がある。現在実施している、小学校就学前の入通院費助成及び小中学生の入院費助成を、高校生までの入通院費助成に拡大し、経済的な負担を継続的に軽減することで子育て世代への切れ目ない支援を行うことにより、将来にわたって安心して子育てができる環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生の通院費助成及び高校生の入通院助成（児童手当特例給付受給者相当を対象とし、継続的に実施） 対象者への新たな医療証の発行 事業実施にかかるシステム改修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施計画全体の事業実績に基づき、本事業の計画額を変更 総事業費への交付金充当率を当初計画の26%程度から40%程度に変更

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【子育て支援医療費助成事業】 小中学生の通院費助成・高校生の入通院費助成の実施	5,339,000	8,437,000	8,377,676	・扶助費及び審査支払手数料 ・拡充相当額（ただし、交付金申請期限後の支出分は除く）
【子育て支援医療費助成医療証発行事業】 対象者への医療証の発行を行う	208,000	133,000	132,489	
【子育て支援医療費助成システム改修事業】 新たな医療費助成の実施にかかる関係システムの改修	542,000	930,000	929,600	・経費総額は1,857,600円だが、内928,000円は大阪府の補助金を活用
計	6,089,000	9,500,000	9,439,765	

(※)決算見込み

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数値	H27年度実績	達成状況	要因等
年間助成件数 平成26年度(見込み)5,963件→平成27年度10,630件	5,963件(計画提出時見込み)	9,840件	未達成	対象者1人あたりの受診が見込みよりも少なかった
子どもの医療にかかる負担について、経済的負担が少なくなり、安心が増したと思う人の割合 60%	-	62.3%(総合計画関連アンケートから)	達成	高校生への入通院助成にまで拡大したことが直接的な効果を生んだ

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に相当程度効果があった	本町の人口ビジョンでは、家計が出生に与える影響が大きく、子育て支援に向けた経済的援助拡大へのニーズが強いこと等から、子育ての支出に対する支援の充実が自然減に抑制につながると整理している。助成件数は見込み値より少なかったものの、目標の9割程度に達し、安心が増したとの評価があることから、地方創生に効果があったといえる
---------------------	---

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値
基本目標2(2)豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実	安心して子供を生み育てやすいまちだと思ふ住民の割合	55.2%	70.0%

②効果

本事業が総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効である	本町では子育て世帯に対する経済的な援助の拡充への高いニーズがあり、本施策の主な取り組みとして「子育てに関する経済的な支援」を挙げていることから、本事業が直接的にKPIの達成に効果があると考えられる
------------------------------	--

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

特に見直しをせず事業を継続する	総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効であることから、引き続きその効果を図りつつ事業を継続する
-----------------	---

⇒総合戦略の改訂

改訂しない	本事業の今後の方向性が総合戦略記載内容と一致しており、改訂を要さない
-------	------------------------------------

【3】妊婦健診拡充事業

[保健福祉課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
妊産婦の健診にかかる助成限度額を拡充することにより、経済的な負担を軽減することで、健康管理の充実と、町ならではの良質な子育て環境で安心して出産できるという希望をかなえる	・助成限度額を拡大(14回75,000円→14回116,840円) ・医療機関への妊婦健診委託及び委託機関以外での健診に対する費用助成を実施	なし

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【妊婦健診委託事業】 妊婦検診(拡充対象)にかかる業務の委託	2,511,000	-	1,065,810	・拡充相当額(ただし、交付金申請期限後の支出分は除く)
【妊婦健診費用助成事業】 対象者への拡充分の費用助成の実施	837,000	-	164,370	・拡充相当額(ただし、交付金申請期限後の支出分は除く)
計	3,348,000	-	1,230,180	

(※)決算見込み

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数値	H27年度実績	達成状況	要因等
受診した妊婦数平成26年度比10%増(98人→108人)	98人	80人	未達成	対象者(母子健康手帳発行者)の減少により目標値を下回った
出産にかかる費用について、経済的負担の減少により安心が増したと思う人の割合60%	-	62.3%(総合計画関連アンケートから)	達成	国の示す検診費用の標準額にまで助成を拡大したことが直接的な効果を生んだ

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に効果があった	本町の人口ビジョンでは、家計が出生に与える影響が大きく、子育て支援に向けた経済的援助拡大へのニーズが強いこと等から、子育ての支出に対する支援の充実が自然減に抑制につながると整理している。受診した妊婦数は見込み値より少なかったものの、安心が増したとの評価があることから、地方創生に効果があったといえる
-----------------	---

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値
基本目標2(2)豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実	安心して子供を生み育てやすいまちだと思ふ住民の割合	55.2%	70.0%

②効果

本事業が総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効である	本町では子育て世帯に対する経済的な援助の拡充への高いニーズがあり、本施策の主な取り組みとして「子育てに関する経済的な支援」を挙げていることから、本事業が直接的にKPIの達成に効果があると考えられる
------------------------------	--

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

特に見直しをせず事業を継続する	総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効であることから、引き続きその効果を図りつつ事業を継続する
-----------------	---

⇒総合戦略の改訂

改訂しない	本事業の今後の方向性が総合戦略記載内容と一致しており、改訂を要さない
-------	------------------------------------

【4】自主防災組織設立・活動応援事業

[総務課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
急峻な山間部にあるという地勢上、地域における自主的な防災が重要であることから、自主防災組織育成要綱を策定し、活動を支援することとしている。備蓄資機材の購入費用を助成することにより、自主防災組織の立ち上げを支援し、地域防災の担い手を増やすことで防災力を高めるだけでなく、地域のつながりや、コミュニティの醸成を図る。また、地域のつながりによる安心を本町ならではの住みごころのよさとしてブランディングすることで、定住化の促進につなげる	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織として登録をした団体に対し、活動用資材の整備にかかる費用を補助 登録組織に対し、各組織均等割(30千円)と世帯数割(300円)で算出した補助金を交付 	なし

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【自主防災組織活動応援事業】 自主防災組織として登録した団体への活動用資材の整備費用補助	1,337,000	-	318,000	・補助団体数:1団体
計	1,337,000	-	318,000	

(※)決算見込み

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数値	H27年度実績	達成状況	要因等
要綱に基づく登録組織数(14自治会中 5組織)	0組織	6組織	達成	自主防災組織の登録促進を、活動資材整備にかかる支援と併せて行ったことで、積極的な組織登録の動きにつながった

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に非常に効果的であった	人口減少や高齢化の進展は、地域コミュニティの弱体化により災害時対応の困難さを高める恐れがあり、自主的な地域防災力の強化が必須となる。本事業は自主防災組織数の増に寄与し、まちの創生に効果的であるといえる。ただし、登録団体による関連資材の整備については、その計画に時間を要したことから、交付金を活用して年度内整備することができた組織は1団体に留まった
---------------------	---

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値
基本目標4(2)コミュニティ力の維持・強化の支援	自主防災組織率	0.0%	100.0%

②効果

本事業が総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効である	本事業は総合戦略における「コミュニティ力の維持・強化の支援」にかかる事業として、KPIに対する直接的な効果がある
------------------------------	--

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

特に見直しをせず事業を継続する	総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効であることから、引き続きその効果を図りつつ事業を継続する
-----------------	---

⇒総合戦略の改訂

改訂しない	本事業の今後の方向性が総合戦略記載内容と一致しており、改訂を要さない
-------	------------------------------------

【5】郷土資料デジタル化事業

[生涯学習課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
町の歴史を表す古文書や歴史資料をデジタル化し、HP等で公開することにより、石仏等の歴史遺産と組み合わせた観光資源とする。観光資源としてのPRにより、町のPRや来訪者の増と観光を起点とした地域経済の活性化や定住化につなげていくと同時に、地域の人々に「ふるさと」を再発見してもらう	・歴史資料をまとめたガイドブックの作成 ・資料のデジタル化及び公開	なし

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【郷土資料デジタル化実施事業】 町の歴史を表す古文書や歴史資料のデジタル化の実施及びホームページでの公開	1,178,000	-	0	・委託によるデジタル化を予定していたが、地域住民の協力によりデジタル化を行うことができ、費用を要さなかった
【歴史資料ガイドブック作成事業】 郷土資料のデジタル化にともなう関係資料をガイドブックとしてとりまとめ、配布する	1,000,000	-	960,120	・作成数:2,000冊
計	2,178,000	-	960,120	

(※)決算見込み

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数値	H27年度実績	達成状況	要因等
町の歴史にかかるホームページ閲覧件数の増加 平成26年度実績比50%増	191.0件	288.2件 (50.9%増)	達成	閲覧件数は増加しているが、デジタル資料の公開は平成28年4月以降となったため、本事業による直接的な効果とは考えられない
郷土資料館の来訪者数 平成26年度実績比10%増	637人	541人 (15.1%減)	未達成	デジタル資料の公開が平成28年4月以降となったこと、ガイドブックについても平成28年3月の発行となったことから、効果を挙げるができなかった

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に効果がなかった	実質的に当初目標を達成することができず、年度内に事業効果を挙げるができなかった。一方で、町の歴史にかかるホームページの閲覧件数は、本町出身のキリンタン大名高山右近の知名度向上にあわせて増加していると思われることから、本事業を他の事業と連携させ、交流人口の増を図ることが必要である
------------------	---

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値
基本目標3(1)新たな観光パッケージやビジネスの創出	地域資源を活用したイベント等への参加者数	9,816人	15,000人

②効果

本事業が総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効である	デジタル化した資料の公開や、ガイドブックの配布のみの事業では、交流人口の増やしごとづくりにかかる指標達成に資するとはいえないが、これらを活用し、他の事業と連携させることで効果を生み出すことができると考えられる
------------------------------	--

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

事業内容の見直し(改善)をする	本事業による成果物を、総合戦略に記載した「戦略的な観光振興・情報発信にかかる基盤整備」事業と連携しながら発信することで、地域資源を活用した地域の活性化を図る
-----------------	--

⇒総合戦略の改訂

改訂しない	本事業の今後の方向性が総合戦略記載内容と一致しており、改訂を要さない
-------	------------------------------------

【6】魅力ある観光情報発信事業

[農林商工課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
町には歴史遺産など魅力ある観光資源があるにもかかわらず、野山に点在するなど拠点となる場所がなく、また発信力が弱いこと、その魅力を総合的に活かしてきていない。観光客が訪れやすい、時代に合った情報発信の環境整備やコンテンツの充実を資する整備を行うことで、知名度の向上と来訪者の増を図り、観光を起点とした地域経済の活性化や定住化につなげていく	<ul style="list-style-type: none"> 観光ホームページを作成し、時代に合った、発信効果の高いコンテンツを整備 観光コースを発信するため、既存の観光資源を活用した回遊性の高い観光コース整備等の環境整備を実施 事業は観光協会が実施し、対象費用を補助 	当町出身のキリシタン大名高山右近が福者に列せられたことに伴う横断幕作製を追加

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【観光情報発信支援事業】 観光協会によるホームページ、ガイドマップの作成、観光コース整備等を支援	5,000,000	5,460,000	5,460,000	
計	5,000,000	5,460,000	5,460,000	

(※) 決算見込み

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数値	H27年度実績	達成状況	要因等
町の観光にかかるホームページ閲覧件数の増加 平成26年度実績比50%増	1,250件 (月平均)	2,600件 (108%増)	達成	ホームページのリニューアルによりコンテンツに魅力が増し、発信力が高まった
来訪者数(ガイドツアー利用者)平成26年度実績比10%増	1,600人	800人	未達成	ガイドツアーの実施回数や団体数は増加したものの、1回あたり800人が参加するツアーの実施がなくなり、人数が減少した

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に効果があった	観光情報の発信について成果を挙げることができた。交流人口の増加につなげることはできなかったが、本事業を契機として、ガイドツアーの実施開始数及び実施団体自体は増加していることから、ひとの流れをつくる体制作りができたと考えられる
-----------------	--

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値
基本目標3(1)新たな観光パッケージやビジネスの創出	地域資源を活用したイベント等への参加者数	9,816人	15,000人

②効果

本事業が総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効である	総合戦略では、本指標の達成に向け「戦略的な観光振興・情報発信にかかる基盤整備」を主な取り組みのひとつとして挙げており、その他の事業と連携して事業を行うことでKPI達成に有効となる
------------------------------	---

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

特に見直しをせず事業を継続する	本事業による情報発信は継続しつつ、新たな観光パッケージやビジネスの創出、次世代につながる農業の活性化等による事業と連携させながらKPI達成を図る
-----------------	--

⇒総合戦略の改訂

改訂しない

本事業の今後の方向性が総合戦略記載内容と一致しており、改訂を要さない

【7】地域によるふるさと活性化応援事業

[農林商工課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
町では地域の人々が主体となって歴史や自然遺産を活用したふるさと活性化動きが活発になっており、それらが町の重要な観光資源になりつつある。このような動きを支援することによって、活動をより効果あるものとし、観光客の増だけでなく地域の人々の元気を生み出し、他の地域への波及を図る	・情報発信や、ふるさとづくりなど、地域の自主的なアイデアによる活動を支援する補（歴史的な遺産を活用した地域活性化を行うNPO等への補助） ・活動や組織運営にかかる経費（団体活動のポータルサイトの開設、案内チラシの作成、イベントの実施等）を対象とするが、団体の自主的なアイデアを重視	なし

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【地域によるふるさと活性化応援事業】 地域資源を活かしたふるさと活性化を行う団体の活動費用を支援	5,000,000	-	5,000,000	支援対象団体:高山自治会、吉川自治会、NPO法人影絵劇団おととえ座
計	5,000,000	-	5,000,000	

(※)決算見込み

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数値	H27年度実績	達成状況	要因等
支援実施組織数 平成27年度 2団体	0団体	3団体	達成	地域資源の活用を条件としつつ、団体のアイデアを重視した支援の仕組みにより、目標を達成することができた
イベントの実施 回数 0→4回(1回当たり300～400人規模を想定)	0回	4回	達成	団体の自主性を重視した支援の仕組みにより、目標を達成することができた

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に非常に効果的であった	地域のイベントの実施による交流人口の増加につなげることができると同時に、自治会やNPO等によるコミュニティの活性化を図ることができた。今後は、自主財源に基づく事業の継続が課題となる
---------------------	--

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値
基本目標3(1)新たな観光パッケージやビジネスの創出	地域資源を活用したイベント等への参加者数	9,816人	15,000人
基本目標4(2)コミュニティ力の維持・強化の支援	地域行事・活動が活発に行われていると思う住民の割合	61.2%	80.0%

②効果

本事業が総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効である	本事業は観光、コミュニティ活性化双方の総合戦略のKPI達成に直接的な効果がある。ただし、支援した団体による事業の継続性や、財源確保が課題となる
------------------------------	---

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

特に見直しをせず事業を継続する	本事業による支援体制は維持しつつ、事業の継続性を確保するための人材確保や、しごとづくりによる財源確保といった課題解決に向けた検討を行う
-----------------	---

⇒総合戦略の改訂

改訂しない	本事業の今後の方向性が総合戦略記載内容と一致しており、改訂を要さない
-------	------------------------------------

【8】地域しごと創生スタート支援事業

[農林商工課]

概要	当初計画	期間中の計画変更
近年、ICTを活かした多様な働き方が可能となっていたり、地域課題の解決に資するコミュニティビジネスが目立つなど、ニュータウンがメインとなっている町ならではの環境を活かした起業の可能性が生まれている。このような起業のスタートを支援することで、安心して子育てをしながら起業ができる環境づくりを行う また、さらなる起業の呼び水となるよう、支援対象者の「生の情報」による町の魅力発信を行い、地域活性化と定住の促進を図る	・対象：地域課題に資するコミュニティビジネス等※当該事業がさらなる起業の呼び水となるよう、補助を実施し、起業をスタートした者には積極的な情報発信を義務付け ・地域内起業等スタート支援（起業にかかる立ち上げ経費を支援）を実施。当該事業により起業した者には積極的な情報発信を義務づけ	・実施計画全体の実績に基づき、金額を変更 ・事業内流用により地域しごとスタート関連セミナー・相談会の実施を追加

1. 事業別交付金実績

	当初	変更	実績(※)	備考
【地域しごと創生スタート支援事業】 地域における新たな創業のスタートにかかる費用を補助	5,000,000	4,540,000	404,000	・支援事業者：ニコニコ太陽介護タクシー
【起業対象者住宅取得等支援事業】 住宅ストックを活用した地域における新たな創業者に対する住宅取得等費用の補助	3,000,000	3,000,000	0	
【地域しごと創生スタート支援PR事業】 地域しごと創生スタート支援にかかるPR（チラシ作成等）の実施	200,000	100,000	0	
【地域しごと創生スタート支援セミナー等開催事業】 地域しごと創生スタートにかかるセミナー及び相談会の実施	-	100,000	100,000	参加者数：50名
計	8,200,000	7,740,000	(※)決算見込み	

2. 事業実施の効果

①実施計画における指標の達成状況と評価

指標	H26年度数	H27年度実	達成状況	要因等
起業及び情報発信件数 2件	0件	1件	未達成	本事業を活用した起業相談は2件あったものの、うち1件は事業計画を精査する必要性が生じ、実際の起業には至らなかった
起業による定住件数 1件	0件	0件	未達成	起業による定住希望者が1件あったものの、上記により定住に至らなかった

②評価及び課題整理

本事業は地方創生に効果があった	指標は達成できなかったが、地域課題を解決するしごとづくりや本事業に伴う地域情報の発信に効果があった。一方、地域外の人が地域での起業を実現するためのサポートのあり方が課題となった
-----------------	--

3. 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略への効果

①総合戦略に記載した関連施策

関連施策	指標	基準値	H31目標値
基本目標3(3)新しい地域のしごとづくりへの支援	創業・起業支援件数	-	5件

②効果

本事業が総合戦略のKPI達成に向けた事業として有効である	本事業は創業・起業支援にかかるKPI達成に直接的な効果があるが、起業にかかるきっかけづくりや、起業につながる地域課題の提示等と併せて行う必要がある
------------------------------	---

4. 実績値を踏まえた事業の今後について

特に見直しをせず事業を継続する	本事業による支援体制は維持しつつ、総合戦略において重点化した地域課題を解決する事業にかかるしごとづくりを、必要に応じて支援体制を構築しながら積極的に進める
-----------------	---

⇒総合戦略の改訂

改訂しない

本事業の今後の方向性が総合戦略記載内容と一致しており、改訂を要さない